

皆さま、こんにちは。
府中教会、アンドレアです。

主の公現の祭日に続く、本日の主日に、私たちは主の洗礼を祝います。主の洗礼はイエスの公生活の最初の出来事であり、4つの福音書すべてにおいて語られます。約30歳になったとき、イエスはナザレを離れてヨルダン川に行き、他の多くの人々とともにヨハネから洗礼を受けました。神の国を述べ伝えるというイエスの使命は、洗礼という驚くべき出来事から始まります。

福音書記者マルコは次のように記します。「『あなたはわたしの愛する子、わたしの心に適う者』という声が、天から聞こえた」（マルコ1・10-11）。神は、イエスをご自分の愛するひとり子であり、御心に適うものであると宣言されます。父である神はまた、イエスに天と聖霊が鳩のように彼に降って来る姿をお見せになります。イエスは宣教を始める準備が整い、御父と聖霊との深い結びつきが確かめられたのです。

私たちも、洗礼によって神の子になりとは、神さまの恵みを受け取るだけではなく、受け取った恵みを責任をもってきちんとつかっていくことです。自ら、責任をもってキリストの恵みのうちに生きていくものとなっていくことです。私たちも主の呼びかけに忠実に応えて、愛の心から彼に従い、どうすれば神を喜ばせることができるのか考えてみましょう。

